

外国人研究者懇親会
2008年11月14日（金）17:00-19:00 於：西北の風
白井総長ご挨拶

皆さんこんばんは。

本日はこのように沢山の外国人研究者および若手研究者である大学院生の方にお集まりいただき大変嬉しく感じております。本学では、日本国内の他大学と比較して、かなり早い時期から「教育・研究の両面での国際化」に着手してきました。皆様のような世界各国からの方と授業・研究・学生・研究者など様々な切り口で、相互に交流を行いながら資源を共有し、効果を高めていくことにより以下の波及効果が期待できると信じております。まず教育の面では海外の大学との共同授業によるカリキュラムの構築や学生交流。次に研究の面では国内外企業と複層的に連携した産学連携の推進です。また高等教育機関の国際競争力が重視される時代となり、一大学や一国の発展のみを考えるとという狭い視野では太刀打ちが出来なくなってきております。今後はよりグローバルな視点で大学間でパートナーシップを結び、互いが持つ知的資源を活用し合い、人と教育と研究とが奏でる「知の共創」を実現することがなにより重要であると感じております。そのためにも、まずお互いを知り合うことが根幹です。本学では今後も皆様のような海外からの研究者の方を積極的に受け入れて行きたいと考えております。

今後も魅力ある大学であるために、今回のシンポジウムのような企画を通じて研究者の客観的な眼から見た本学の研究や生活環境に対する意見や要望、他大学が優れている点などの忌憚の無いご意見をいただきたいと思っております。我々にとっては耳の痛い話もたぶんに含まれるかも知れませんが、確実に正面から受け止め、今後活かしていくことは、大変貴重なことだと感じております。また次回本学を訪れるときには、本日出された意見のひとつでもふたつでも多くの意見が実現され、本学にまた来たい、もしくは他の研究員の方にもすすめたいと感じていただけるような大学であり続けたいと願っております。

以上簡単ではございますが、開会の挨拶とさせていただきます。